

(1) 交流・共創機能の再確認

- 新庁舎のコンセプト

森のようにひととまちを そだて・つなぎ

熊本城とともに まもり・あゆむ

—「森」に込めた想い—

コンセプトに示す「森」は、基本計画検討分科会での審議において、新庁舎の概念を空間に当てはめた際に、「市民が関わる場所（参画・交流・憩い）が様々な場所に配置されるイメージ」と「あらゆる人にとって入りやすく居心地の良い場所のイメージ」を表現する言葉として、設定されました。

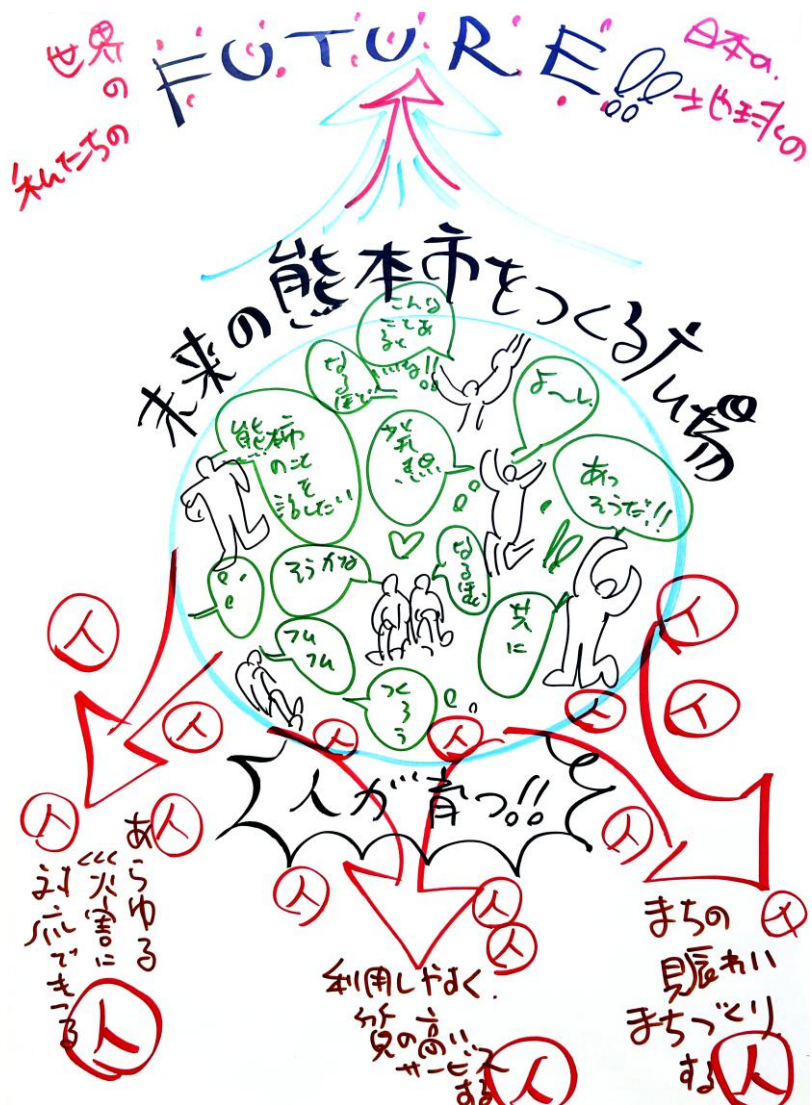
また、森には、多様なものを受け入れる包容力と安心感があり、循環と共生による持続性や創造力が満ちています。「森の都」である熊本市の新庁舎は、この森のように、人やまちを守り、賑わいや文化を育み、次世代へとつなぐ庁舎を目指します。

：「多様性」に関する内容

：「未来」に関する内容

(1) 交流・共創機能の再確認

- 未来の熊本市をつくる広場（日比野文化顧問が考えるイメージ・スケッチ）

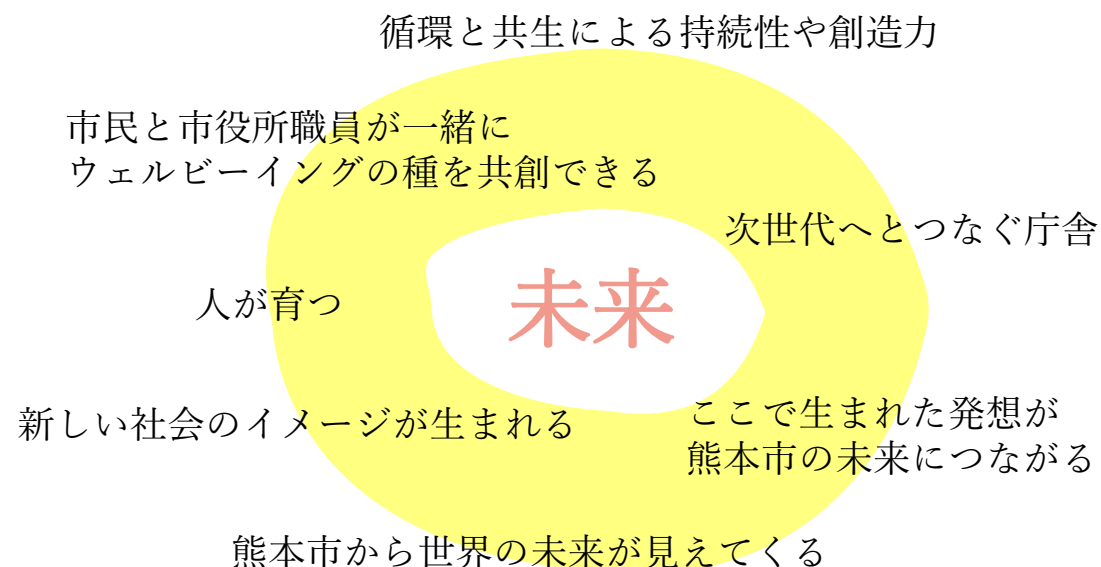
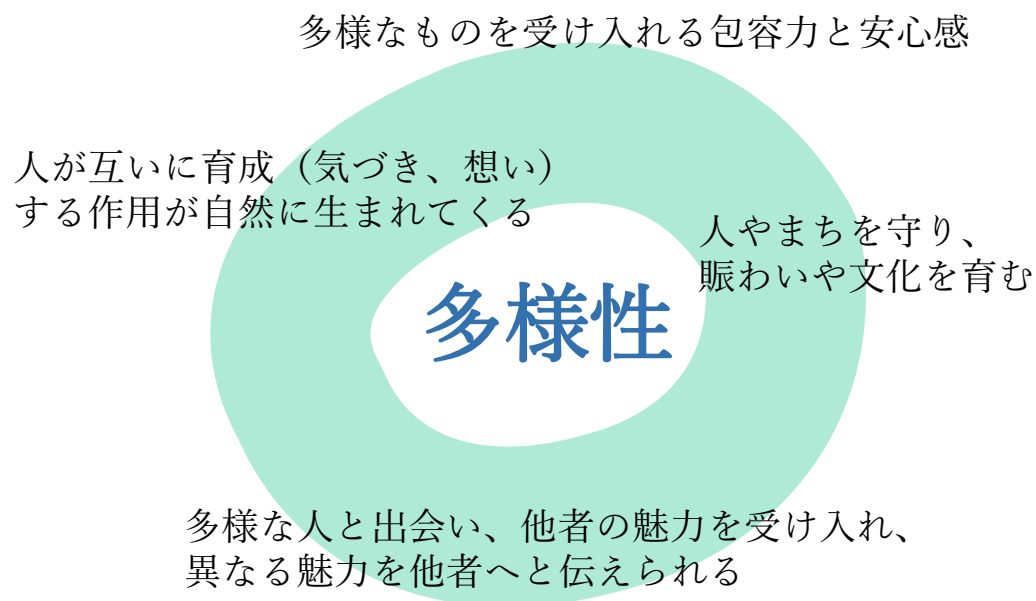


- ・ 熊本市のことを語り合いたくなる広場
- ・ 市民と市役所職員が一緒にウェルビーイングの種を共創できる広場
- ・ 新庁舎の目指すべき姿(3つの視点)※ を実現する人が育つ広場
- ・ 人が互いに育成(気づき、想い)する作用が自然に生まれてくる広場
- ・ ここで生まれた発想が熊本市の未来につながることを夢見れる広場
- ・ 市役所職員のやる気が得られる広場
- ・ 新しい社会のイメージが生まれる広場
- ・ 多様な人と出会い、他者の魅力を受け入れ、異なる魅力を他者へと伝えられるような広場
- ・ 熊本市から世界の未来が見えてくるような広場

○ : 「多様性」に関する内容
○ : 「未来」に関する内容

(1) 交流・共創機能の再確認

- キーワードは「多様性」と「未来」



→ 交流・共創機能は占有スペースを設けず、共用部の各所に溶け込み、市民・事業者・行政などの多様な主体や価値観が交わり、未来の熊本市を共創する環境を創出する。

(1) 交流・共創機能の再確認

● 共用部活用のイメージ



(2) 想定される交流・共創機能の利用シーン

シーン 1 こどもが熊本を知り、未来の担い手になる

学校帰りのこどもたちが自習や休憩で立ち寄り、デジタルサイネージや展示を通して熊本の歴史や市の取組に触れる。日常の中でまちづくりへの関心を育み、未来の担い手へと成長していく。



シーン 2 市民の声がその場で市政につながる

休憩スペースに職員が出向き、オープンハウスなどを通じて市民と気軽に對話する。對話を通じて相互理解を深めながら、市民と行政がともにまちの未来を考えるきっかけとなる。

シーン 3 多様な人が出会い、新しいアイデアが生まれる

飛び入り参加型ワークショップなどで、高校生、子育て世代、高齢者、事業者、職員など、多様な人々が同じテーブルを囲む。それぞれの経験や価値観が交わり、地域課題の解決につながる新たなアイデアが生まれる。

シーン 4 小さな参加がまちづくりの第一歩になる

熊本城の展望を楽しみながらアンケートに回答したり、意見を投稿したりする。何気ない参加が市政への参画につながり、多くの声が未来の政策づくりに活かされる。

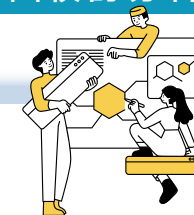


シーン 5 市民の想いが見える風景になる

誰でも自由に書き込めるボードに、熊本の魅力や地域への提案が集まる。市民同士や職員との新たな對話が生まれ、まちへの愛着や参画意識が育まれていく。

シーン 6 若者が地域の未来に関わり始める

若手職員と高校生・大学生が語り合い、地域課題や熊本の未来について意見を交わす。若者の視点や発想がまちづくりに活かされ、次代の地域人材の育成につながる。



シーン 7 観光客が熊本との新たな接点を得る

観光の合間に立ち寄った来訪者が、休憩しながら観光情報や地域イベントに触れる。新たな目的地や体験と出会い、熊本の魅力をより深く知るきっかけとなり、ファンが増える。



シーン 8 偶然の出会いから共創が始まる

待ち合わせや打合せなど、別の目的のために集まった人々の間で、思いがけない会話が生まれる。市民と企業、企業同士、行政と民間がつながり、新たなプロジェクトや挑戦へと発展していく。

シーン 9 誰もが居場所を見つけられる

花畑広場のイベントの合間に訪れた親子連れが、こどもを遊ばせながらひと休みする。学生や高齢者、観光客などもお気に入りの場所で思い思いに過ごし、誰もが気軽に立ち寄れる居場所となる。

シーン 10 まちなか全体へ活動が広がる

熊本城から長堀通りを歩く観光客が、庁舎のイベントや展示をきっかけに立ち寄る。その関心が上通や下通へと広がり、まちなか全体の回遊やにぎわいにつながっていく。

(3) 災害時の活用

- エリア防災に寄与する新庁舎のあり方
- 新庁舎(本庁舎・議会、中央区役所)は、**指揮命令機能を担う災害対応の拠点**※として整備。
 - ※ 本庁舎：災害対応の指揮・命令・総合調整、災害対応業務（物資受入れ、仮設関係、災害廃棄物、各種支援など）
 - 中央区：区内の災害対応の指揮・命令・総合調整、災害対応業務（被災者対応、避難所運営、家屋被害調査・罹災証明など）
- 災害時は、他施設と連携を図りながらフェーズに応じて低層部を活用 ※今後、関係機関と協議の上、運用方法等を含めて検討を行う。

初動段階/応急段階(発災直後)

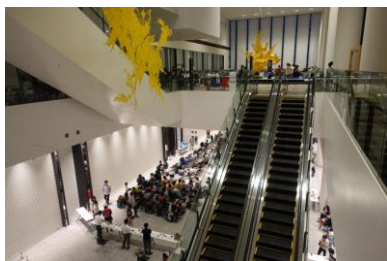
- 被害情報や避難情報の発信
- 隣接する指定緊急避難場所の花畑広場等と連携した**来庁者・来街者の一時的な受け入れ**
- 帰宅困難者退避施設(サクラマチクマモト、熊本城ホール)と連携した**帰宅困難者の支援**
- 外国人向け情報提供・避難対応を担う国際交流会館と連携した**外国人の避難誘導支援**

被災者支援段階/復旧・復興段階

- 被災者支援・復旧復興活動など**状況に応じた利活用**

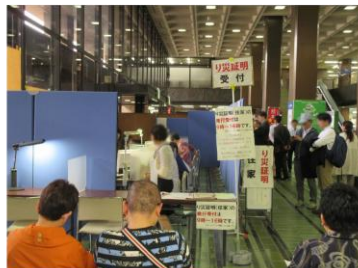
「花畑広場に災害ボランティアセンターが設置された場合の補完機能の設置」や「支援手続きの窓口設置」、「災害派遣医療チーム等の活動スペース」などを想定

帰宅困難者一時滞在状況



出典：札幌市危機管理課HP

支援手続きの窓口スペースの設置等



出典：熊本災害デジタルアーカイブ
提供者：東京都葛飾区

災害ボランティアセンターの補完機能（辛島公園地下通路）



出典：熊本災害デジタルアーカイブ
提供者：新潟県新潟市

災害派遣医療チーム等の活動スペース等

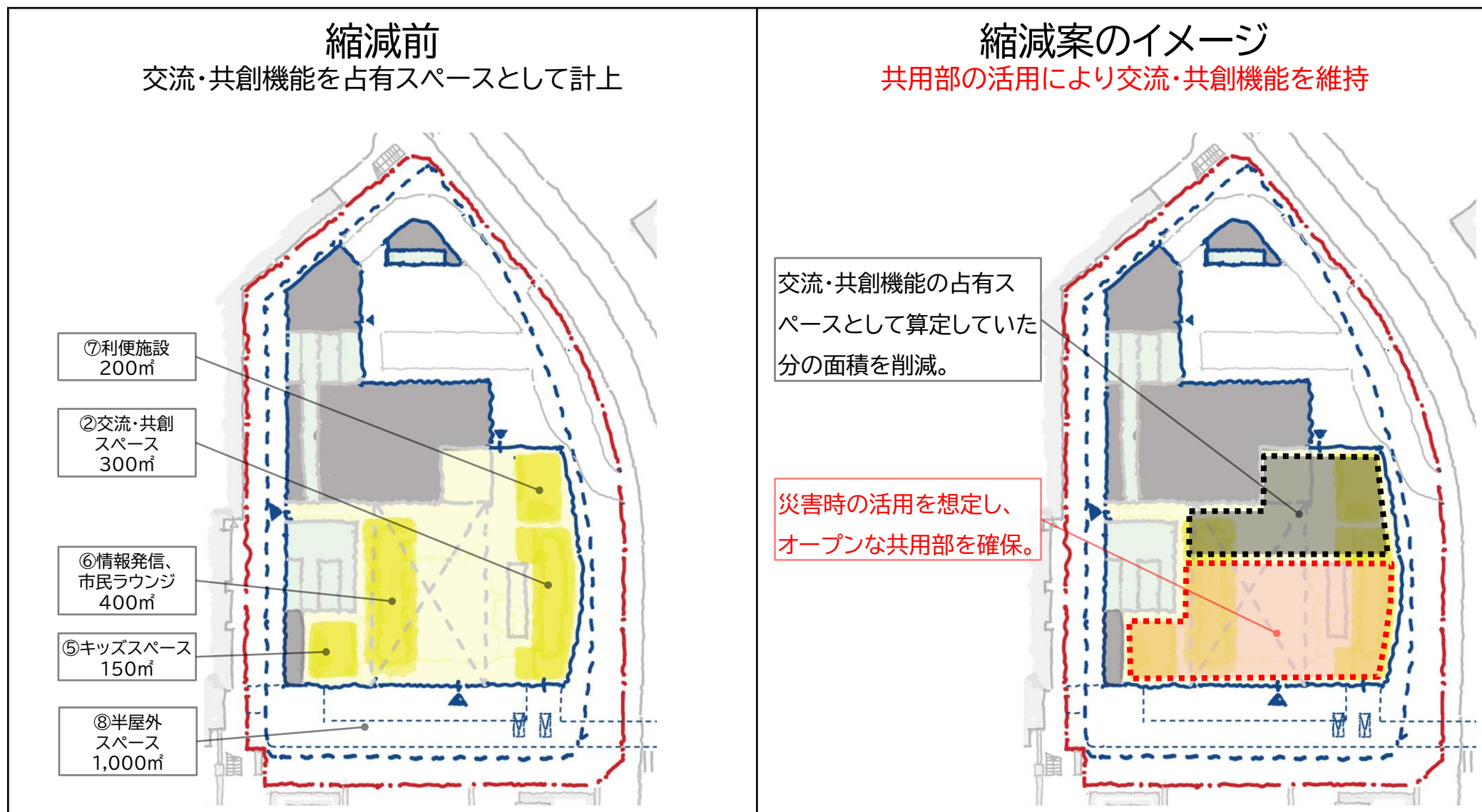


出典：熊本災害デジタルアーカイブ
提供者：宮崎市消防局

→ 災害時の活用を想定し、新庁舎低層部に一定程度のオープンな共用部を確保する。

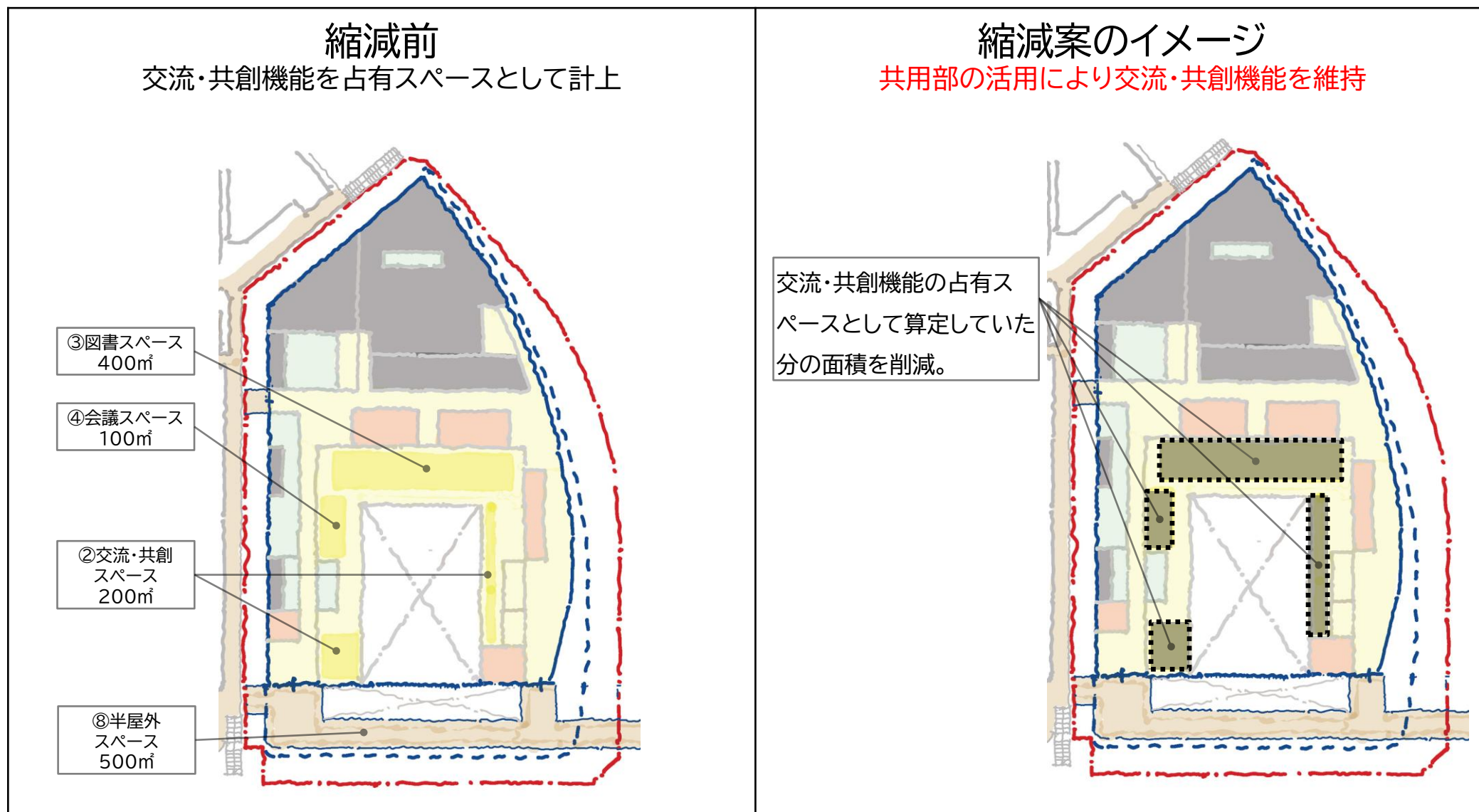
(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

● 本庁舎 1階



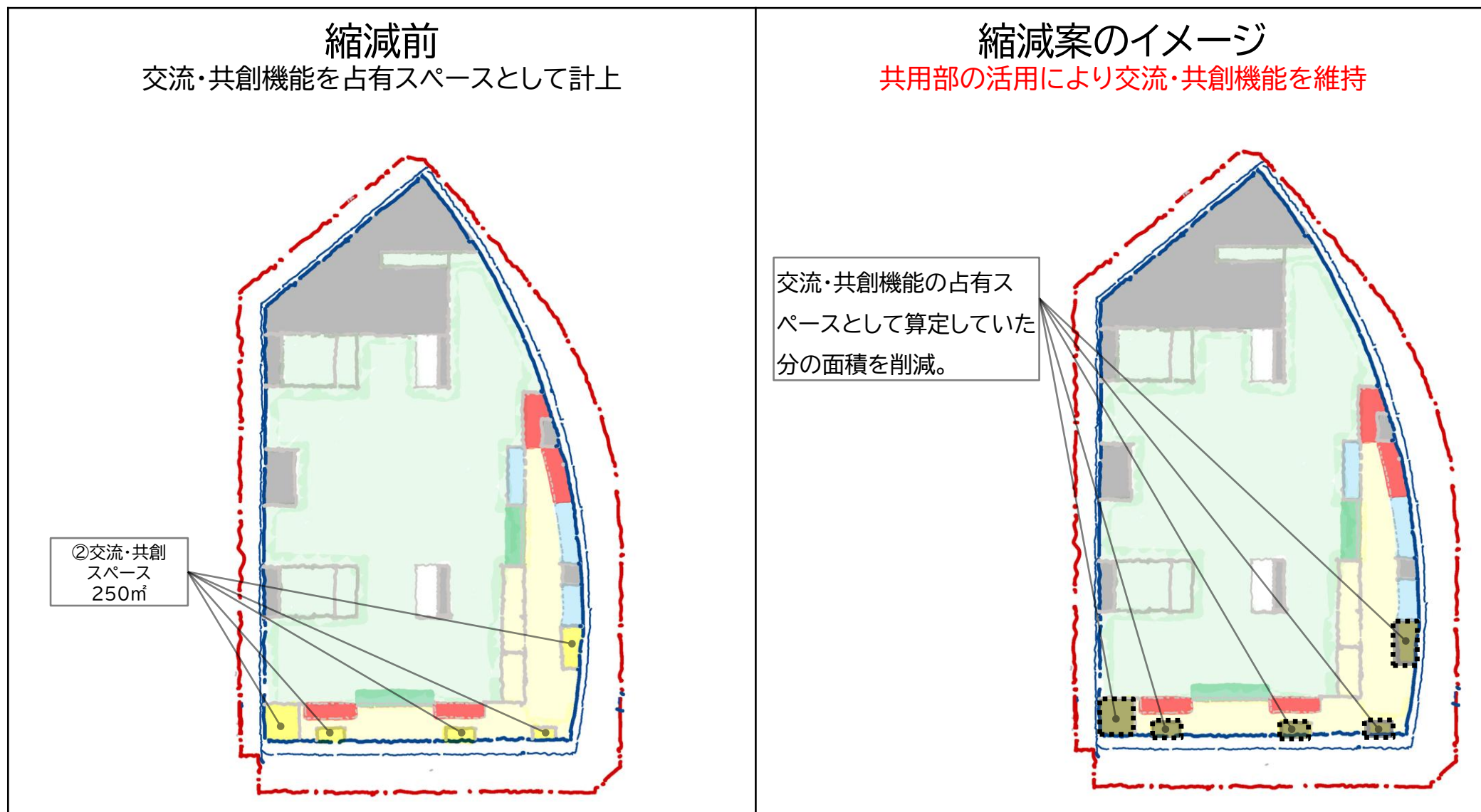
(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 本庁舎 2階



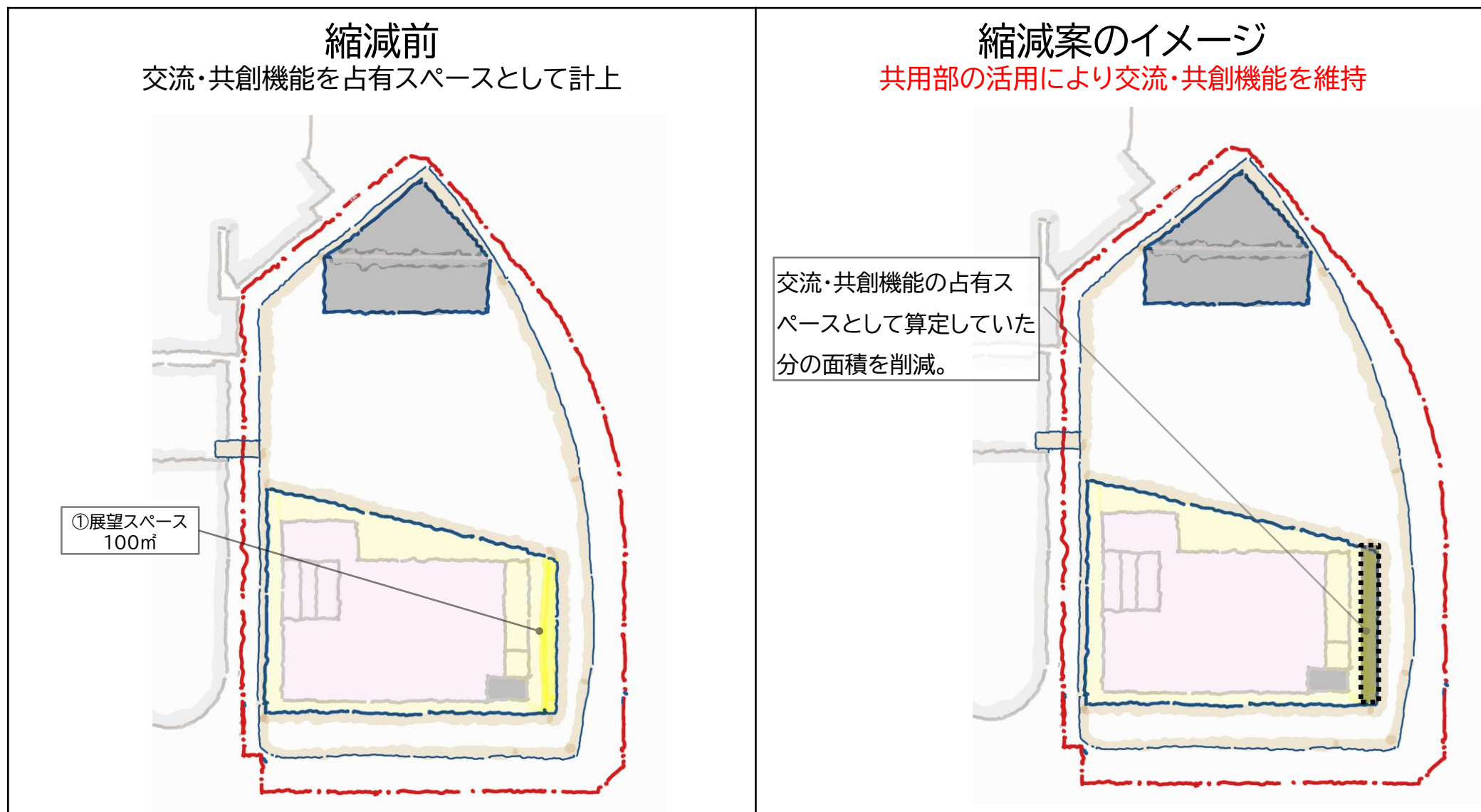
(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

● 本庁舎 中層階



(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 本庁舎 高層階

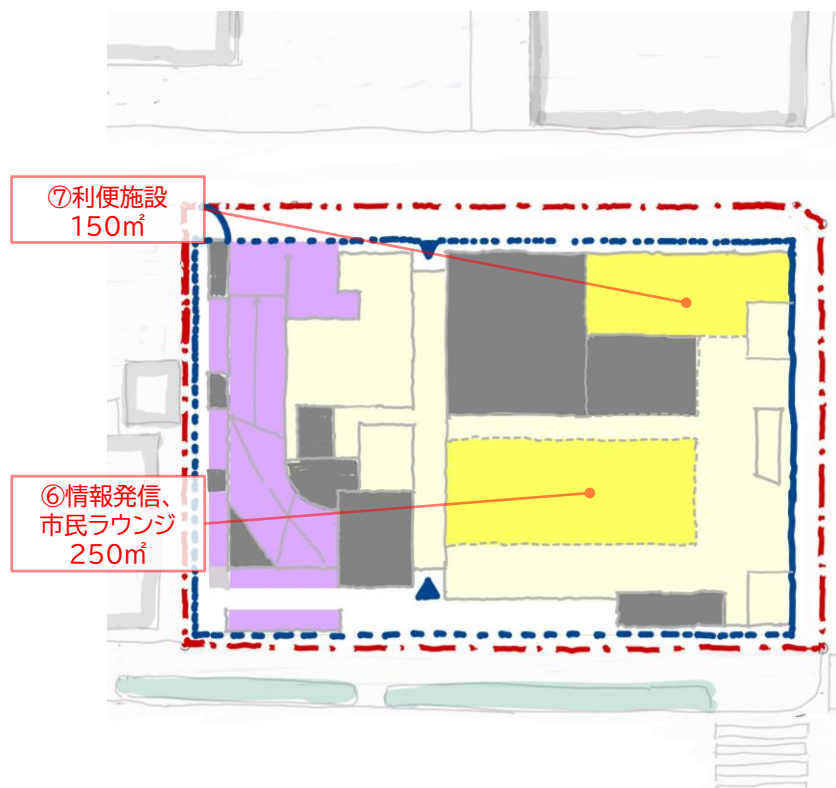


(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 中央区役所 1階

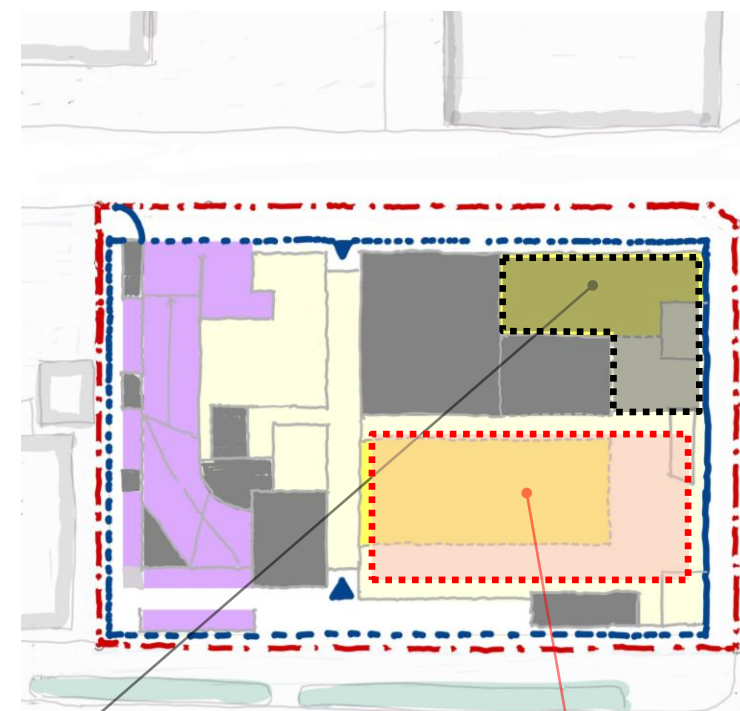
縮減前

交流・共創機能を占有スペースとして計上



縮減案のイメージ

共用部の活用により交流・共創機能を維持



交流・共創機能の占有スペースとして算定していた分の面積を削減。

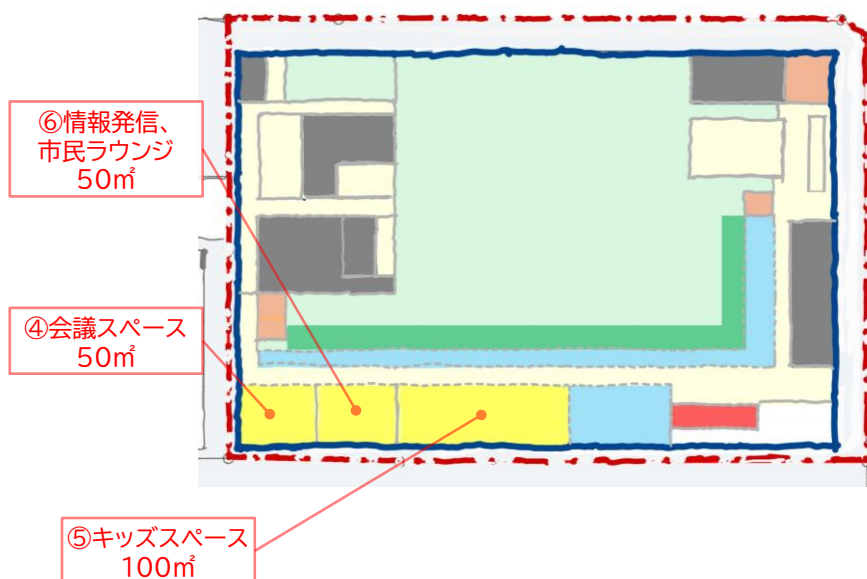
災害時の活用も想定したオープンな空間。

(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 中央区役所 2階

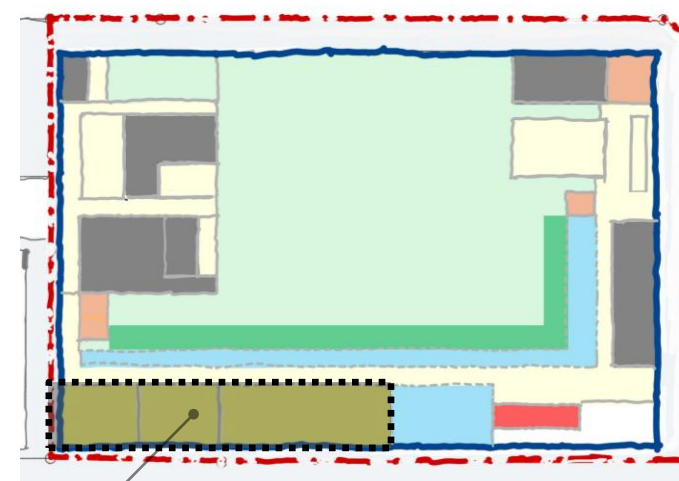
縮減前

交流・共創機能を占有スペースとして計上



縮減案のイメージ

共用部の活用により交流・共創機能を維持



交流・共創機能の占有スペースとして算定していた分の面積を削減。

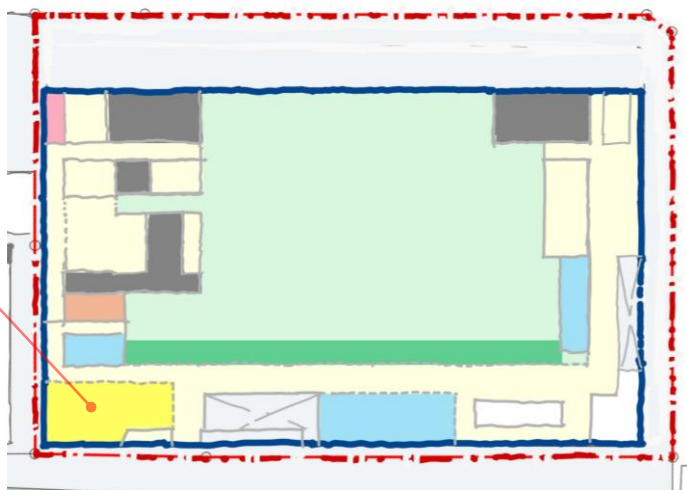
(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 中央区役所 中層階

縮減前

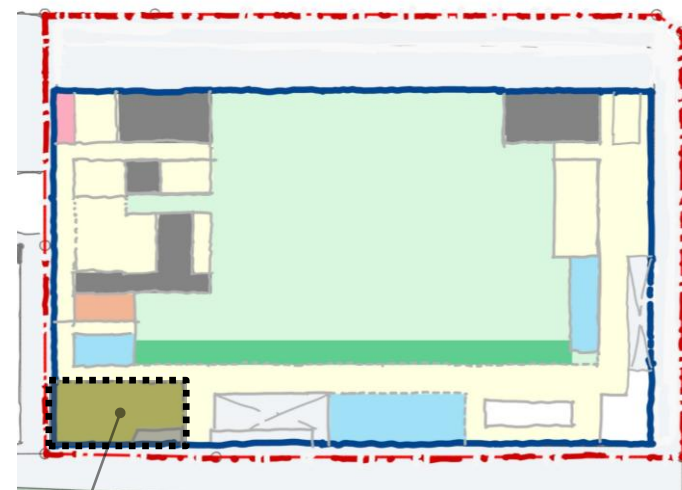
交流・共創機能を占有スペースとして計上

②交流・共創
スペース
250㎡



縮減案のイメージ

共用部の活用により交流・共創機能を維持



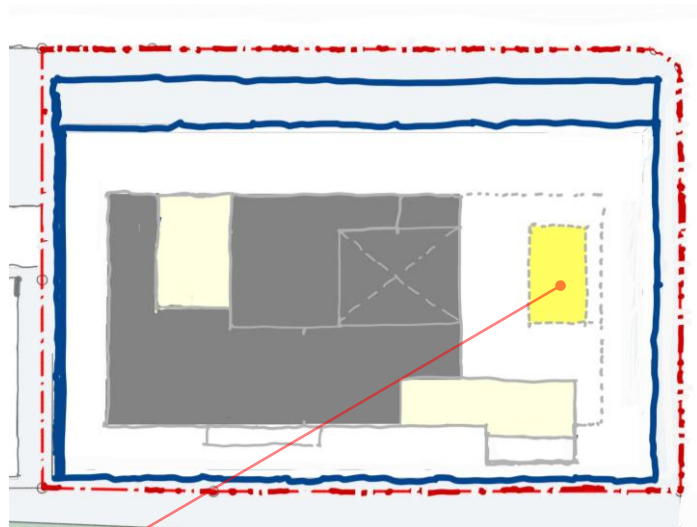
交流・共創機能の占有スペースとして算定していた分の面積を削減。

(4) フロアレイアウト案（縮減案のイメージ）

- 中央区役所 高層階

縮減前

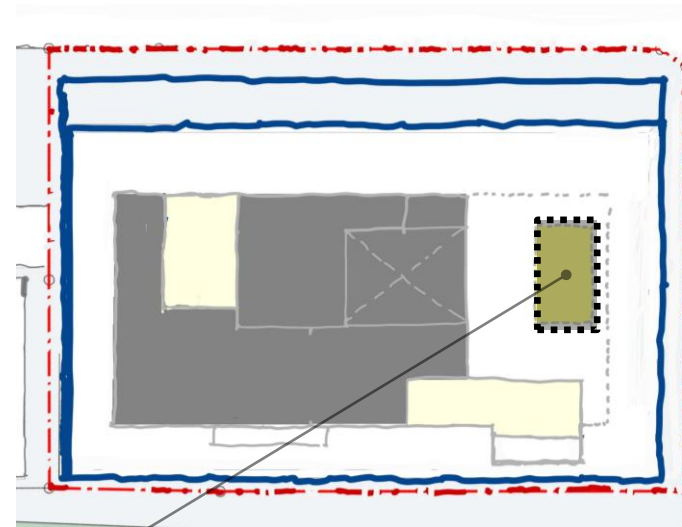
交流・共創機能を占有スペースとして計上



①展望スペース
50㎡

縮減案のイメージ

共用部の活用により交流・共創機能を維持



交流・共創機能の占有スペースとして算定していた分の面積を削減。

(参考) ワークショップでの検討内容 (新庁舎の利用者像と利用シーン)

● 第2回新庁舎整備に関するワークショップのまとめ

日 時	令和7年(2025年)7月6日(日) 13時～15時
参加者数	23名(市民公募)
内 容	① グループごとに利用者像(ペルソナ)を設定 ② その利用者像が庁舎を利用する場面と理想的な過ごし方を想像



テーマ① 想定した利用者像 (ペルソナ)

70代男性：手続きで来庁、杖を使用	3人家族：休日に買い物ついでに立ち寄り
30代女性：乳幼児連れ、車で来庁	50代男性：他県職員、情報収集に来庁
40代女性：車いす使用、バスで来庁	3人家族：県外から観光に、土地勘ない
50代男性：仕事で本庁舎、私用で区役所に	10代女性：高校の友達と放課後自習に
10代女性：塾帰りに友達と一緒に立寄り	40代女性：平日の夕方、イベントついでに
3人家族：県外から観光に、荷物多い	50代男性：母親の手続きの為、県外から来庁
20代男性：海外から転入、日本語話せない	30代夫婦：障がいに関する相談に、妻が介助

テーマ② 庁舎での過ごし方

利用シーン例 (行動の流れ・場所など)

バス(サクラマチ、最寄停留所など)、市電、車、自転車やレンタサイクル、徒歩などでの来庁
イベントや買い物ついでに来庁、まとめて複数の手続きを希望
友達と放課後自習、イベントや買い物ついでに来庁
ネットにない地元ならではの観光情報収集のために来庁
県外からの観光で、熊本城を展望するために来庁
庁舎内で開催されるイベントに参加するために来庁
車いす利用者が仕事関係の打合せで来庁
乳幼児連れでこどもの手続きのために来庁
海外から最近移住したため、日本語をあまり話せないが、転入手続きなどを行うために来庁

理想的な過ごし方

色んな方向からアクセスできる
外から駐車場の入り口がすぐ分かる
サクラマチマモトからアクセス
レンタサイクルでアクセス
手続きを効率的に
だれでもゆったり休憩
観光や歴史等の情報収集
熊本城の展望を楽しむ
各種イベントに参加
障がい者が通しやすい動線
こどもを遊ばせながら休憩
だれにでも行先を分かりやすく
外国人の方もスムーズに手続き

利用しやすい
楽しく快適に
誰でも安心

第2回ワークショップ テーブルA まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: A

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：フジワラ
年代・性別：70代男性
職業：無職（年金生活）
趣味：囲碁、地域の老人活動
住まい：中央区

来庁場所：中央区役所
来庁日時：平日の午前
来庁目的：後期高齢者医療制度の手続き
来庁手段（交通手段）：徒歩
来庁人数（同伴者がいるか等）：1人
配慮事項等：足腰が弱く、杖を使用

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・住まい(サクラマチ)から徒歩で区役所へ	・市電やバスで移動	
・区役所に入る	・入口が2か所ほしい	・2か所の入り口
・窓口をさがす	・分かりやすいインフォメーション	・クーリングシェルター
・区役所で手続き	・クーリングシェルター	
・地域活動の情報探し	・入ってすぐ情報発見	
・疲れて休けい		・展望フロア(休憩スペース)
・歩いて帰宅		・活動スペース

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: A

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：ホリ
年代・性別：父:45 母:40 子:10
職業：転勤族(TSMC)
趣味：ドライブ
住まい：東区

来庁場所：本庁舎
来庁日時：土曜の昼間
来庁目的：買い物
来庁手段（交通手段）：車
来庁人数（同伴者がいるか等）：3人(家族)
配慮事項等：土地勘が無い

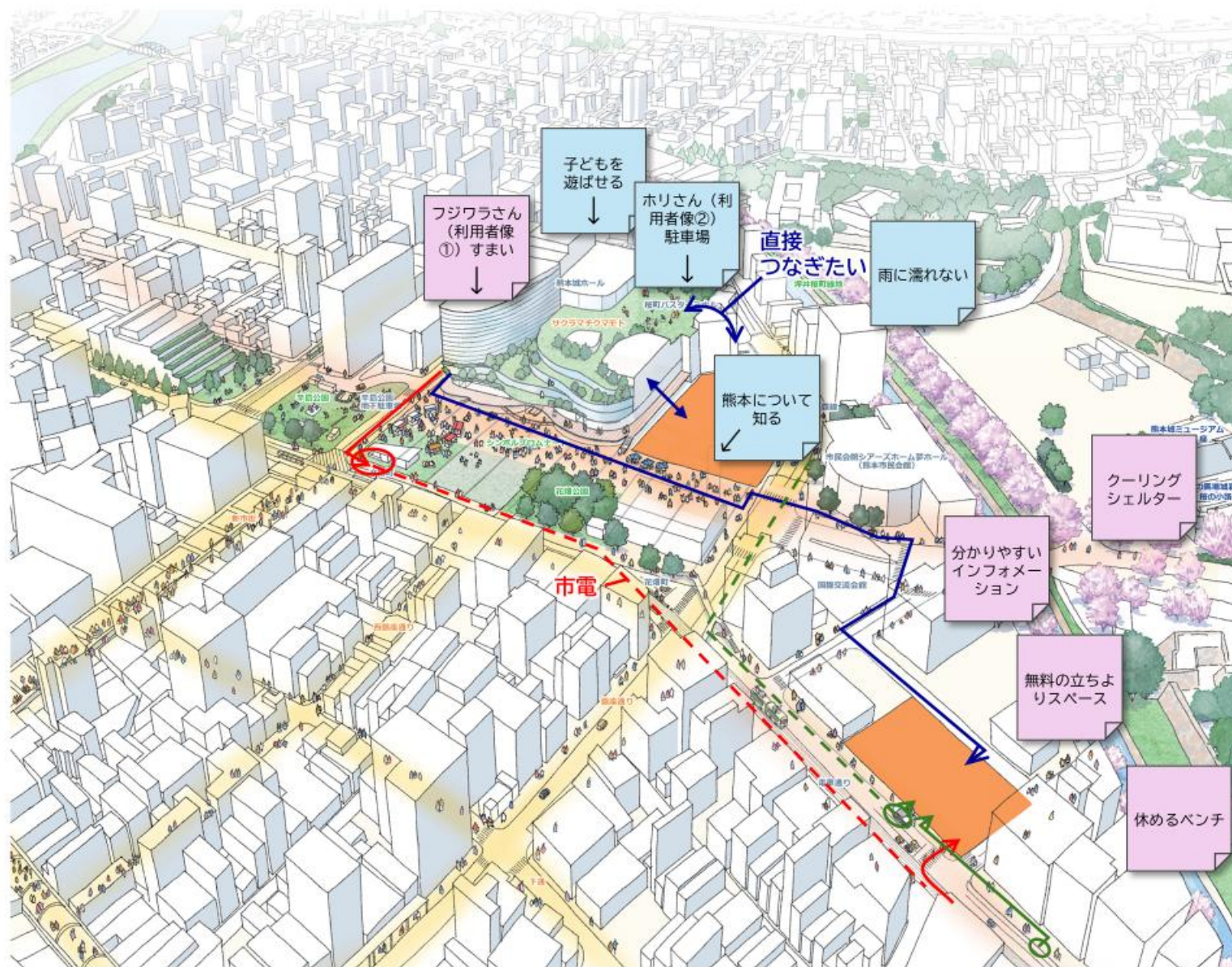
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・車でサクラマチに到着	・駐車場がすぐ見つかる	・わかりやすい標識 (混雑が分かりやすい)
・サクラマチ周辺で買い物	・子どもが退屈しない ・待ち時間が少ない	・屋上or展望スペース (障がい者にやさしい)
・庁舎で熊本について知る(子どもがワンピースに興味)	・子育て情報発見 ・保護犬猫情報発見	・熊本の広域地図 ・情報発信スペースと遊び場が一体のスペース
・イベントに参加する	・ポップアップストアや譲渡会に行く	・商業的に活用できるスペース ・譲渡会等に活用多目的スペース
・駐車場に移動して車で帰宅		

第2回ワークショップ テーブルA まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: A



第2回ワークショップ テーブルB まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: B

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定

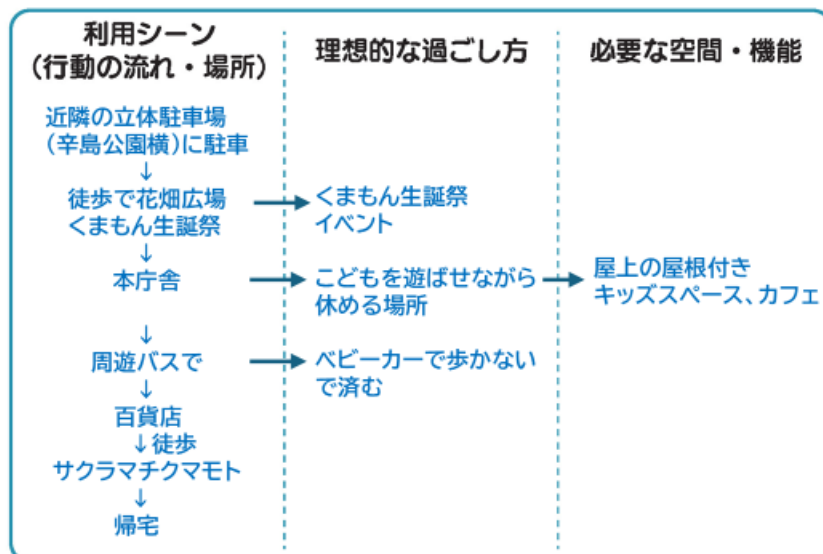


名前（仮名）：オガタ サクラ
年代・性別：30代女性
職業：パート勤務
趣味：育児ブログ、カフェ巡り
住まい：西区城山上代

来庁場所：本庁舎
来庁日時：日曜の昼過ぎ
来庁目的：サクラマチ、花畑広場のイベントついでに休憩
来庁手段（交通手段）：車
来庁人数（同伴者がいるか等）：2人（幼児連れ）2才男児
配慮事項等：乳幼児を連れて来庁

くまもん生誕祭(3/12) 10時 サクラマチ
↓
16時 帰宅

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能



新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: B

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定

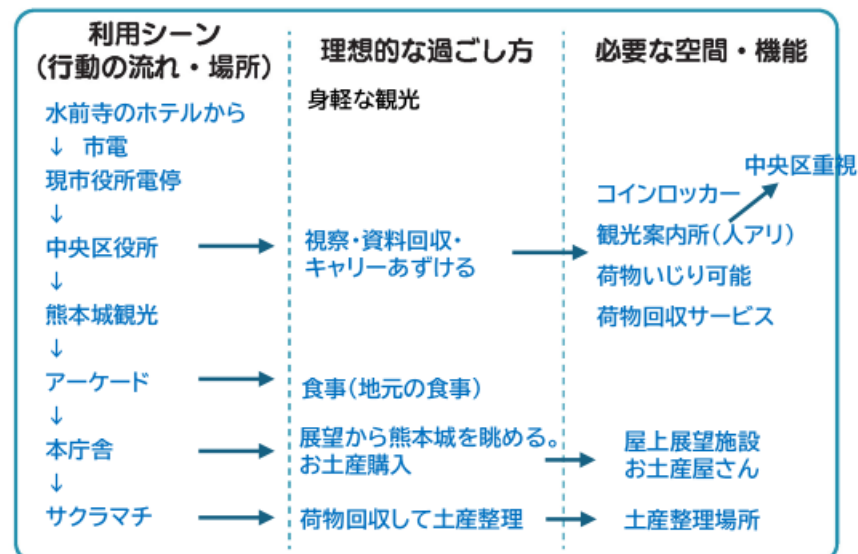


名前（仮名）：シラトリ
年代・性別：男性 50代
職業：他県庁職員
趣味：城めぐり
住まい：他県

来庁場所：中央区役所
来庁日時：土曜、午前
来庁目的：自治体資料をもらいに、観光資料を
来庁手段（交通手段）：市電
来庁人数（同伴者がいるか等）：1人
配慮事項等：キャリーケース持ち

9時スタート
熊本城観光 90分
アーケードと食事 90分
中央区役所、本庁舎 60分
サクラマチ 13時発
空港 15時発
帰宅 18時

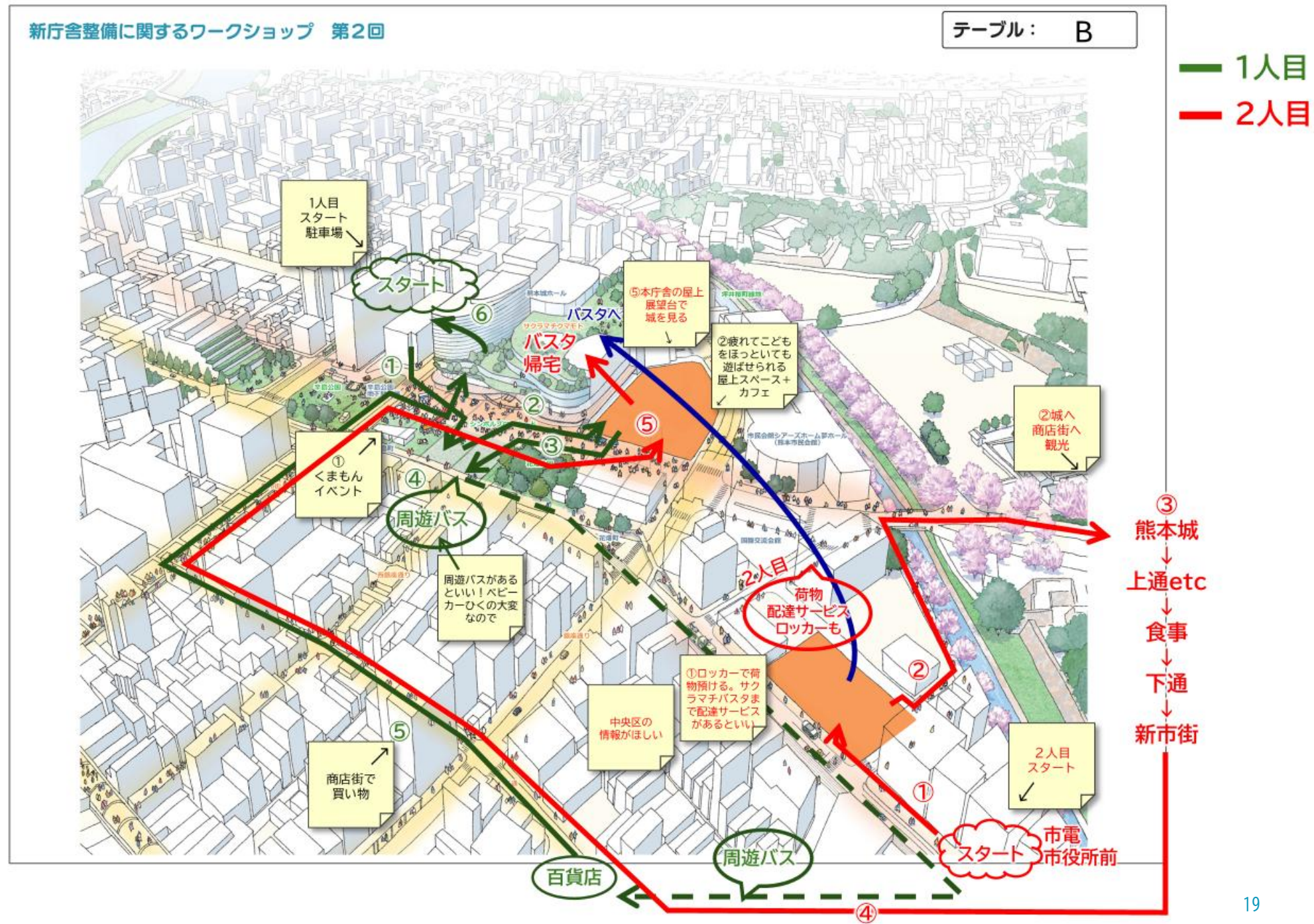
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能



第2回ワークショップ テーブルB まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: B



第2回ワークショップ テーブルC まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： C

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）： つむぐさん
年代・性別： 40代女性
職業： 在宅ワーカー
趣味： 読書、手芸
住まい： 北区

来庁場所： 本庁舎
来庁日時： 平日の昼間
来庁目的： 地震の仕事で来庁（障がい者支援に関する打合せ）
来庁手段（交通手段）： バス
来庁人数（同伴者がいるか等）： 1人
配慮事項等： 車椅子を使用

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・バスでサクラマチバス ターミナルに到着	あえて紙の書籍に触れる	様々なニーズにこたえる 商業施設
・サクラマチのスーパーで 買い出し	エアコンが効いたところ でゆっくり過ごす	
・カフェに立ち寄る (仕事をまとめる)		どこにでも高速WiFi →仕事サクサク
・市(区)役所へ移動 ・市(区)役所担当課へ	車いすも通りやすい動線	車いすでも移動しやすい 動線がある庁舎
・下通りの手芸屋さんへ ・上通りの本屋へ立ち寄る		庁舎とお店をつなぐ通路
・上通近くのバス停から 帰路へ	低床バスが何時に来るか	バスの種別の時刻表

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： C

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）： 城さん一家
年代・性別： 父:40代 母:30代 子:10歳
職業： 父:IT企業勤務 母:教育関係 子:小学生
趣味： 旅行・写真撮影・地元文化体験
住まい： 県外(福岡)

来庁場所： 本庁舎、区役所
来庁日時： 日曜の昼間
来庁目的： 無し(観光ルート沿いにあったから立ち寄った)
来庁手段（交通手段）： 高速バスで福岡から
来庁人数（同伴者がいるか等）： 3人(家族で)
配慮事項等： 土地勘が無い、荷物が多い

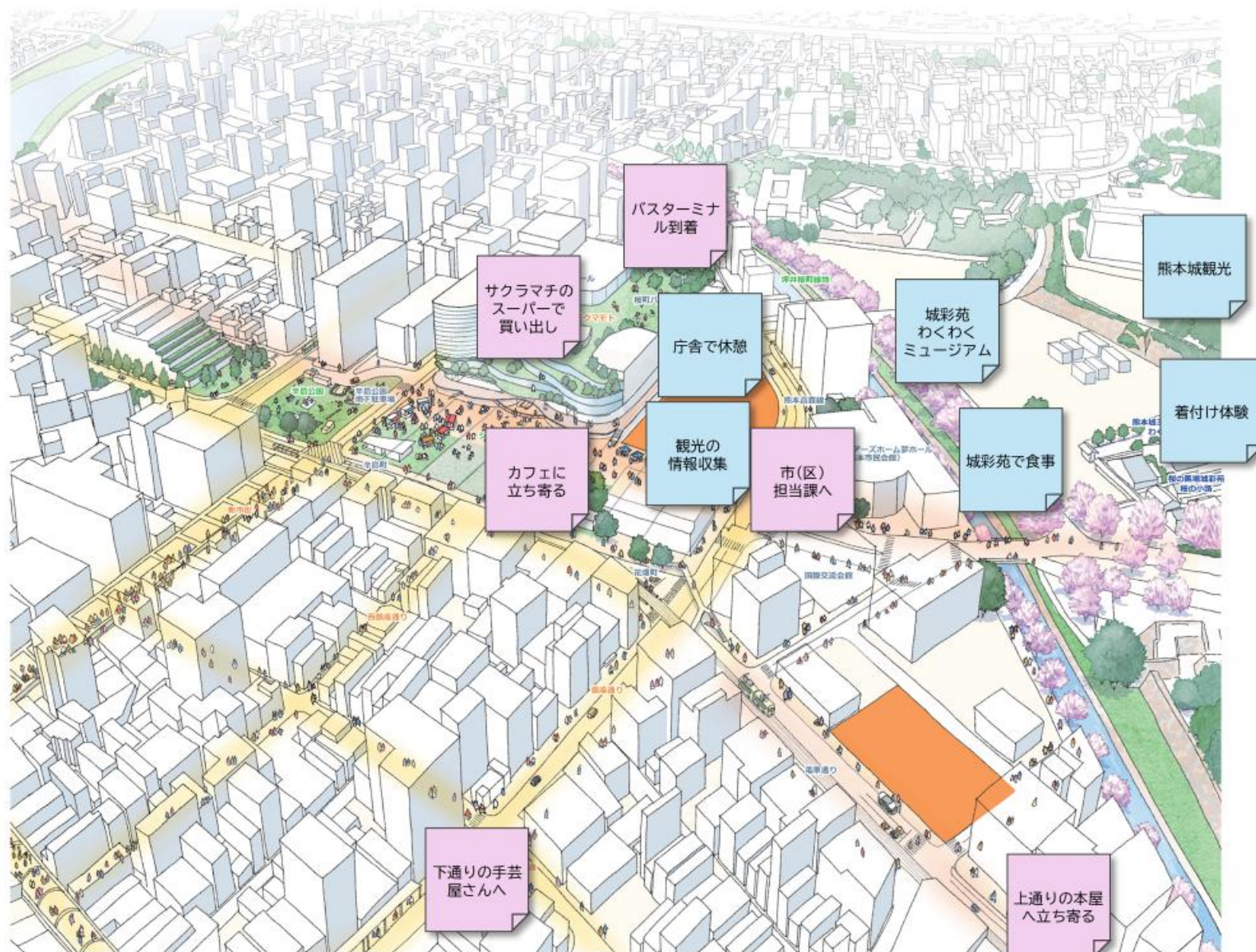
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・高速バスで桜町バス ターミナルに到着	体験型のコンテンツ (VR等) VR体験	熊本市を見渡せるよう な展望台
・庁舎で休憩・観光の情 報収集	新町・古町方面の街歩き	張り紙や掲示板 →やさしい日本語
・熊本城へ移動	熊本城へのアクセス 改善 (地味に遠い)	購入したものを 預けられるロッカー
・熊本城観光		レンタカー (一口城主割引)
・城彩苑で食事、わくわ くミュージアム	ネットにない地元ならで はの観光情報	気軽に使えるカーシェア レンタカー
・桜町へ移動		暗い通りがないように
・桜町(庁舎)で休憩、観 光の情報収集		
・下通りで夜を楽しむ		
・OMO5 熊本に宿泊		

第2回ワークショップ テーブルC まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: C



第2回ワークショップ テーブルD まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: D

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：後澤さん
年代・性別：50代女性
職業：中小企業の社長
趣味：ランニング、経済誌の購読
住まい：南区

来庁場所：本庁舎・区役所
来庁日時：平日の昼間
来庁目的：本庁舎)自社の業務で担当課と打合せ 区役所)マイナンバーカードの手続き
来庁手段（交通手段）：車
来庁人数（同伴者がいるか等）：1人
配慮事項等：時間にシビア、効率重視

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・車で市庁舎付近の 駐車場に停める	→ すぐアクセスできる	→ 車が入りやすい
・市庁舎で担当課と 打ち合わせ	→ ○○課が分かりやすい	→ インフォメーション (サイン・マップなど)
・区役所へ { 車 歩行	・市役所でまとめて手続 ・ドライブスルー	→ 予約システム、AIコンセル ジュ、端末の設置 → 車をさばける道路空間 入り口が多方向 雨に濡れない (地下道(街)・デッキ)
・区役所で申請手続き		

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: D

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：きらりちゃん
年代・性別：高校生・女性
職業：学生
趣味：自然界隈
住まい：東区

来庁場所：学習スペース、図書、カフェ
来庁日時：放課後
来庁目的：学習
来庁手段（交通手段）：市電、歩き
来庁人数（同伴者がいるか等）：4人
配慮事項等：ゆったり、門限あり、しゃべってもOK

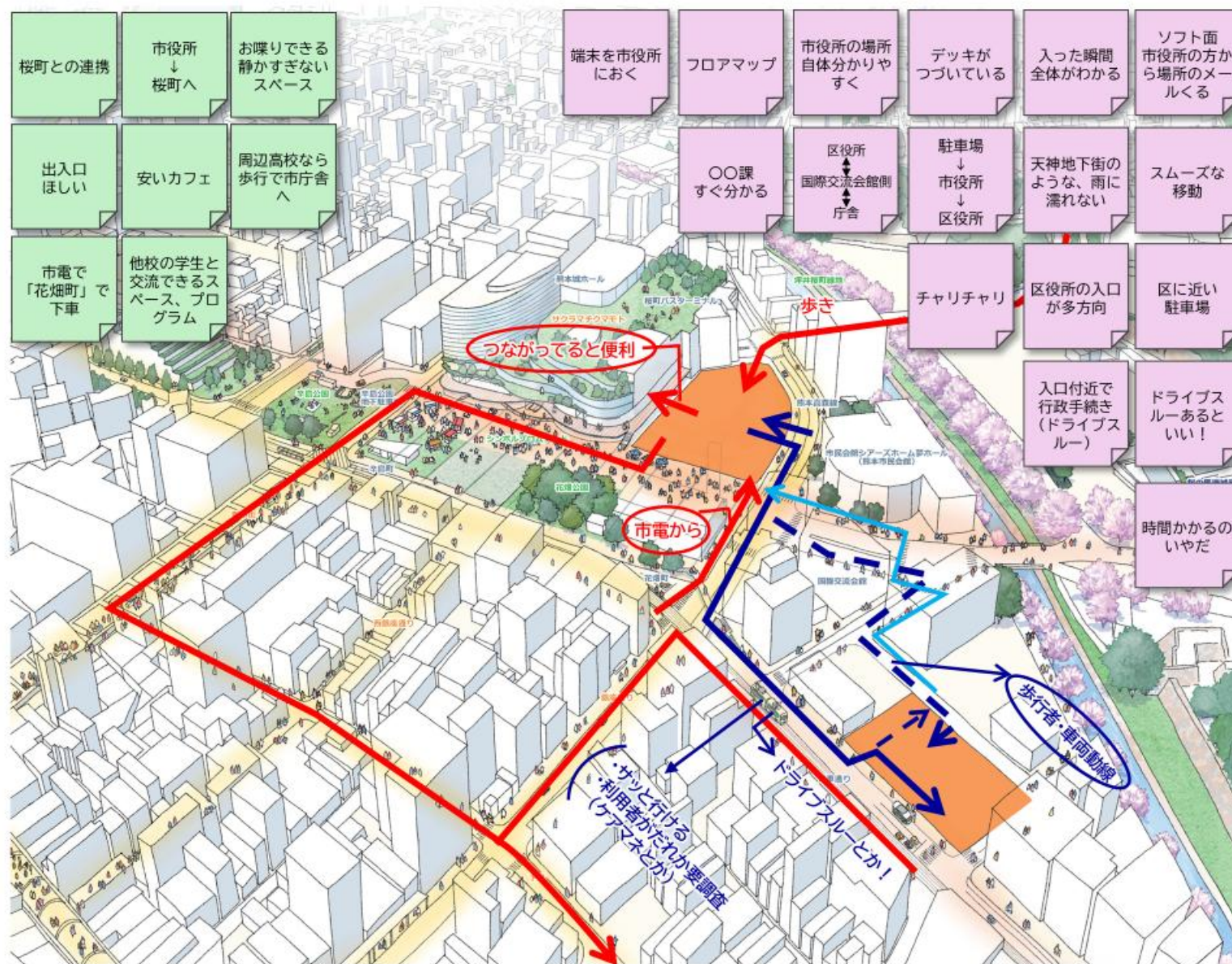
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
高校からそのまま 市庁舎へ学習しに	→ 友だちとお喋りしな がらほどよく学習 ゆったりできる	→ (市電でも歩行でも) 多方向から入れる → カフェ (安い・長居できる) (コピー機あると 便利かも?)
サクラマチクモトへ	→ スムーズな移動 バスで帰る人もいる	→ サクラマチと つながっている
アーケードへ遊びに	→ プリクラとりたいな	

第2回ワークショップ テーブルD まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: D



通町筋へ

第2回ワークショップ テーブルE まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： E

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：きたしま あいこ
年代・性別：10代女性
職業：高校生(受験生)
趣味：イラスト制作、動画編集
住まい：東区

来庁場所：本庁舎・区役所
来庁日時：土曜の午後
来庁目的：塾帰りに友達と昼食のついでにまちなかを散策
来庁手段（交通手段）：市電
来庁人数（同伴者がいるか等）：3人(友達と)
配慮事項等：初めて庁舎を訪れる

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・定期券を使って市電で塾へ		
・写真映えするカフェで昼食	→ 友達と談笑	→ カフェ(写真映え)庁舎周辺に
・新しくできた区役所見学	→ 写真を撮りながら見学	→ 学生でも自由に入れる空間、学習スペースなど
・地域のおじいちゃんにおそわった桜の道で移動	→ 友達と写真を撮りながら	
・市庁舎で写真共有	→ まるいテーブルを囲んでゆったり	→ フリースペース 学習スペース 庁舎の中に可動の家具など

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： E

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：きくた ひな
年代・性別：40代女性
職業：会社員 交番勤務
趣味：カフェ巡り
住まい：中央区水前寺

来庁場所：本庁舎、区役所
来庁日時：平日の17時半(金)
来庁目的：サクラマチクマモトのイベントついでに寄ってみた
来庁手段（交通手段）：チャリチャリ
来庁人数（同伴者がいるか等）：1人
配慮事項等：時間をうまく使いたい、熊本Lover

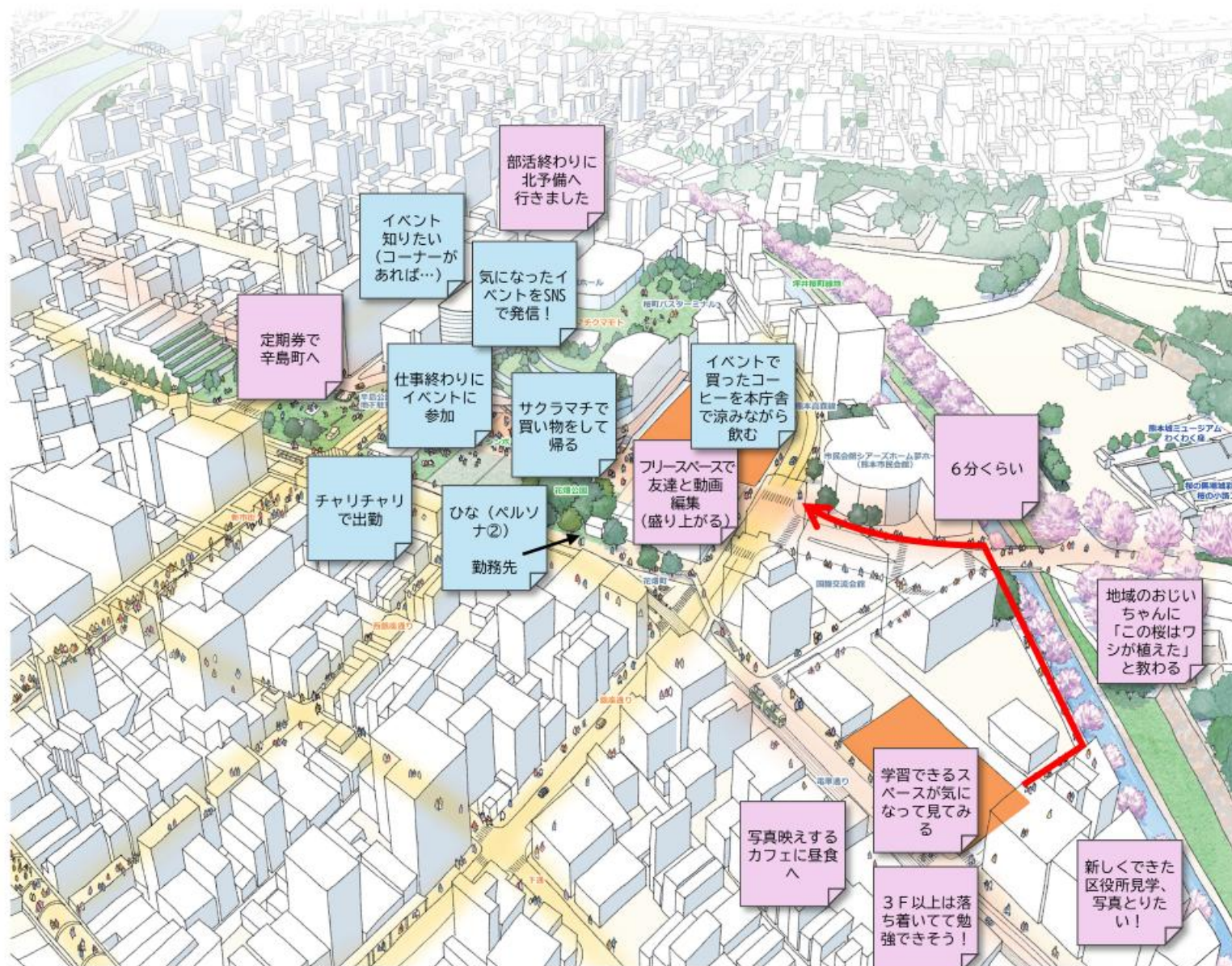
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン (行動の流れ・場所)	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・チャリチャリで出勤(サービス棟 横)		
・仕事終わりにイベント参加	→ 気になったイベントをSNSで発信！	→ イベント発信コーナー
・市庁舎によってみる	→ 涼みながらコーヒー	→ フリースペース 飲食可
・サクラマチで買い物		→ 遅くまで空いている

第2回ワークショップ テーブルE まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: E



第2回ワークショップ テーブルF まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： F

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定

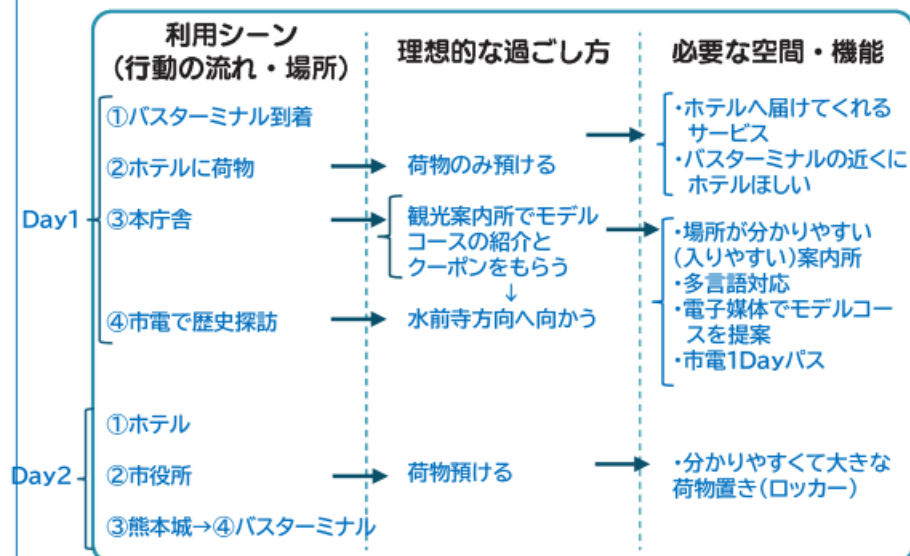


名前（仮名）：古閑 ^{ペレラ 美樹 フェルナンド}
 年代・性別：父)40代 母)30代 子)10歳 ^{スリランカ人 日本人 男の子}
 職業：父)IT企業勤務 母)教育関係 子)小学生
 趣味：旅行、写真撮影、地元文化体験
 お住まい：県外

夏

来庁場所：本庁舎・区役所
 来庁日時：日曜の昼間(夏:かなり暑い35℃)
 来庁目的：無し(観光ルート沿いにあったから立ち寄った)
 来庁手段(交通手段)：高速バスで福岡から
 来庁人数(同伴者がいるか等)：3人(家族で)
 配慮事項等：土地勘がない、荷物が多い

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能



新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル： F

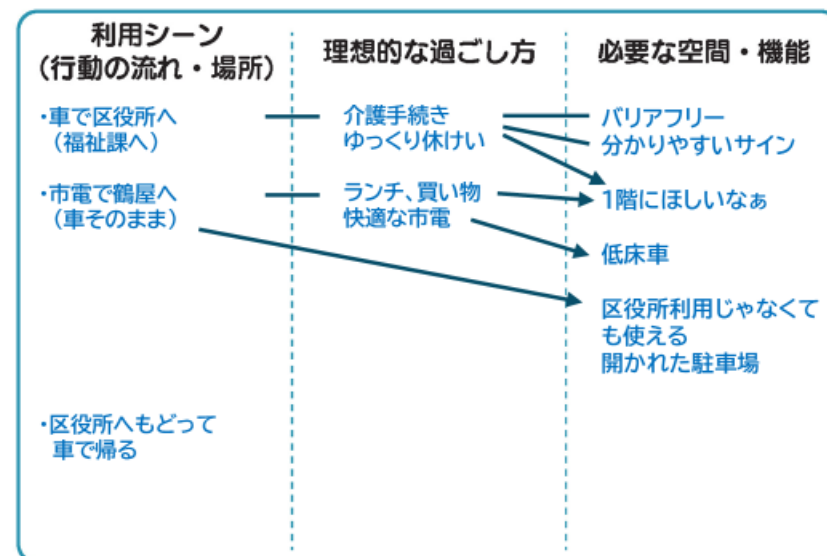
テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：杉本謙造
 年代・性別：80代の母がいる55代の独身男性
 職業：リモートワーク
 趣味：ソロキャンプ
 お住まい：母は中央区、息子は埼玉

来庁場所：中央区役所、福祉窓口 他
 来庁日時：平日午前中 朝イチ
 来庁目的：介護手続き
 来庁手段(交通手段)：車 カーシェアの可能性もあり
 来庁人数(同伴者がいるか等)：自分+母さん
 配慮事項等：息子は初めての来庁、お母さんは要介護、耳が遠い、ギリギリ歩ける！

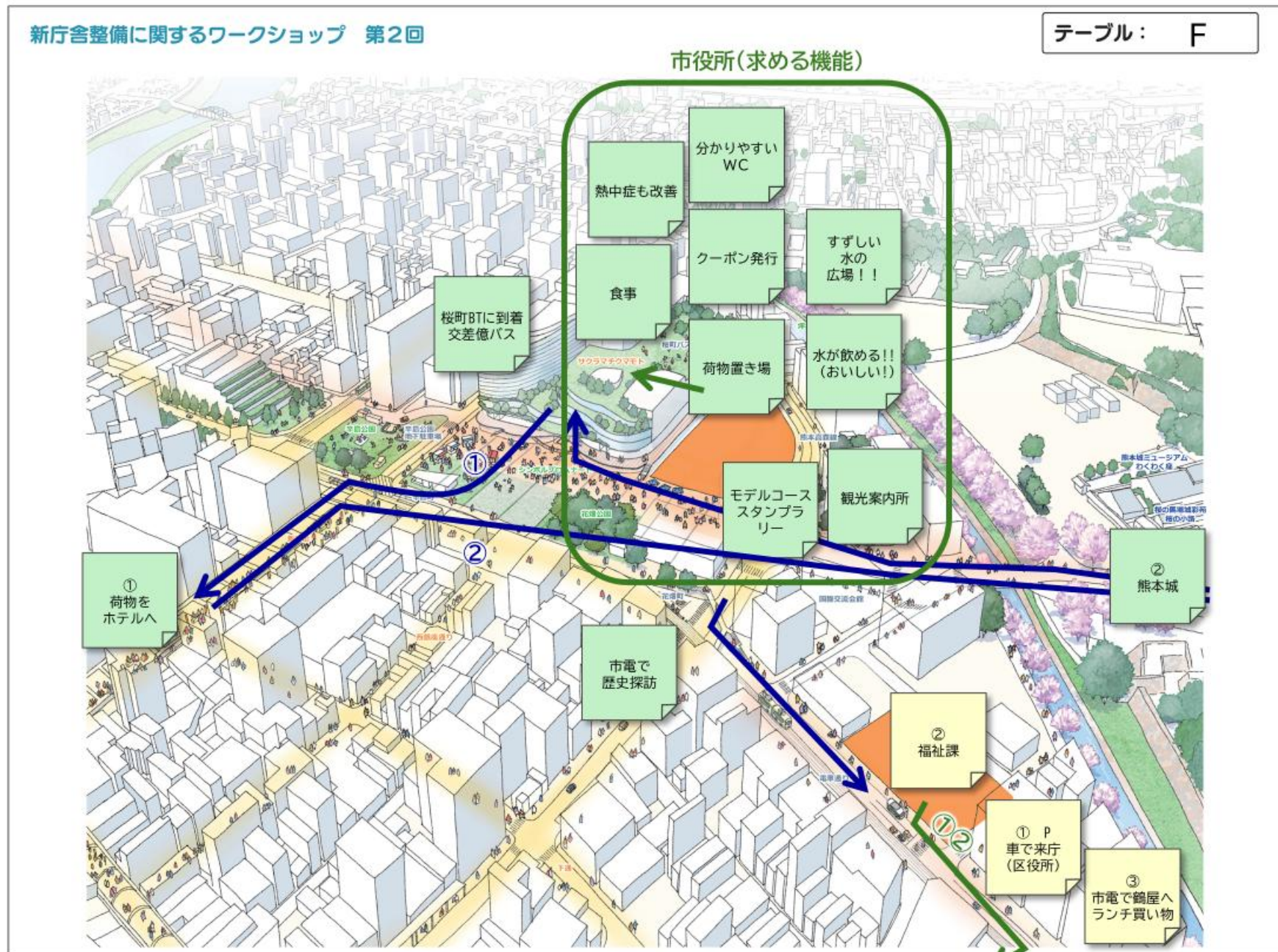
テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能



第2回ワークショップ テーブルF まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: F



第2回ワークショップ テーブルG まとめ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: G

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：ラファエル（仏）
 年代・性別：20代男性
 職業：外資系企業
 趣味：写真撮影、SNS、お酒（ワイン）
 お住まい：中央区（海外から最近引っ越し）

来庁場所：中央区役所
 来庁日時：平日の夕方
 来庁目的：住民票の手続き（転入）
 来庁手段（交通手段）：自転車
 来庁人数（同伴者がいるか等）：1人 → ホームシックになりたくない（発信）
 配慮事項等：日本語がほとんど話せない → エクスプロヴァンスの光景を!!

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン （行動の流れ・場所）	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
区役所駐輪場に自転車を停める	チャリチャリ活用	チャリチャリポート欲しい 受付入口正面に欲しい
庁舎に入って固まる・迷う	どこに行くか一目でわかるといいな	多言語対応必須
紙に書くにしても書けない 担当も読めない	わかるようにできる ようなツールを	→ タブレットで言語選択
転入はしたものの生活の 具体的な相談やコミュニ ティはどこで？誰に？	・ゴミ出しや他の窓口 がわかる ・コミュ：国際交流会館 へ地域やコミュも お酒を飲む	→ 通訳ボランティア活躍 → 自転車を置いていて 良いことの説明や案内 → （道のわかりやすさ） 商店街へのアクセス しやすさ

新庁舎整備に関するワークショップ 第2回

テーブル: G

テーマ① 利用者像（ペルソナ）の設定



名前（仮名）：くもと たろう・さくら
 年代・性別：30代夫婦
 職業：たろう：エンジニア（事故で車いす利用）
 さくら：WEBデザイナー
 趣味：キャンプ・マルシェめぐり
 お住まい：西区

来庁場所：本庁舎（機能・対応課題の明確化）
 来庁日時：平日
 来庁目的：障がい者関連手続き申請 & 生活の相談 → オンラインでできるといい
 来庁手段（交通手段）：自動車（車イス対応）
 来庁人数（同伴者がいるか等）：2人
 配慮事項等：バリアフリー

テーマ② 利用シーンと必要な空間・機能

利用シーン （行動の流れ・場所）	理想的な過ごし方	必要な空間・機能
・駐車場に入庫 （さくら 介助） ・庁舎でエレベーター（上 昇）探す	まだ介助に慣れていない	・車寄せ/WiFi/オンライ ン面談室 ・介助サポート ・本人1人で来れたらいい ・思いやり駐車場からの 動線
・窓口に着く 相談 待ち時間 → 対応 飲み物（自販機）	妻メール対応（仕事） （慣れない手続きで疲れる） 休憩 リラックスできる椅子	・バリアフリートイレ/通路 の幅 ・自販機 ・予約システム ・相談室（個別）（広め幅）
・窓口の人 → 奥の人（伝言）	対応できる人ダイレクト	
・休憩して帰る	★休憩スペース 広い、配置、ベビーカー はあ～1日頑張った	・カフェ・軽食スペース （雰囲気の良い） オープンスペース ・ご案内ロボット

第2回ワークショップ テーブルG まとめ

